国立大学法人九州大学 中央分析センター

第113回 分析基礎セミナー

「原理から学ぶ機器分析【5】無機元素分析」開催のご案内

下記の日程にて、表記セミナーを開催致しますので、ご案内申し上げます。配布資料の

準備もありますので、事前登録にご協力お願いします。

参加は無料です。申込人数の制限はありません。お気軽にご参加ください。

--------------------------------------------------------------------------------------------

**◆**第113回 分析基礎セミナー「原理から学ぶ機器分析【5】 無機元素分析」**◆**

【日時】　2017/6/22（木）　13:00-17:00

【場所】　九州大学伊都キャンパス・工学部第4講義室（西講義棟3Ｆ）

【主催】　九州大学中央分析センター

【共催】　九州大学ナノテクノロジープラットフォーム

【協力】　株式会社島津製作所、アジレント・テクノロジー株式会社

【内容】

13:00～15:00　 原子吸光/ICP発光分析の基礎と使い方

　AA/ICP-AESは元素分析の中核を担う手法として、広く普及している。分析装置の進歩と相まって、誰にでも、迅速かつ容易に測定結果が得られるようになってきた。しかしながら、分析法の常として、様々な干渉（妨害）も存在しており、これに気付かないまま、誤った結果が報告されている例も散見される。今回は、精確度の高い測定を行うために、分析法の基礎、干渉の確認と解決法などの使用上の注意点について、解説する。

 15:10-16:00　 精度管理における標準試薬および認証標準物質の上手な使い方と試料前処理

 　原子吸光、ICP発光分析、ICP質量分析における標準試薬の使いこなしについて、標準試薬の種類と使い方から、精度管理における認証標準物質等を利用した試料前処理方法のポイントについて解説する。さらに、酸分解方法について、開放系分解、密閉系分解の特徴と使い分けについて解説する。

16:00-17:00 　ICP-MSの原理および分析における注意点

　ICP-MSは微量金属元素をpptオーダーで分析できる装置である。当初は超純水や水道水のようなマトリクスの比較的少ないサンプルのみしか分析することができなかった。コリジョンリアクションセルの登場によって分析できるアプリケーション範囲が大きく変化し、妨害物質（多原子イオン干渉）が除去できるようになり、また高マトリクス導入キットによって海水レベルの直接分析が可能になった。本講演では、ICP-MSの基礎原理、ICP-MSの歴史を大きく変えたコリジョンリアクションセルの原理、

ICP-MS分析における注意点を解説する。

九州大学中央分析センター伊都分室・渡辺宛

　　　**ＦＡＸ　:**　 **092-802-2858**

　　 **ＴＥＬ　 : 　092-802-2857**

**メールアドレス : watanabe.midori.452@m.kyushu-u.ac.jp**

**第113回（平成29年6月22日）**

**分析基礎セミナー参加申込書**

|  |  |
| --- | --- |
| 申込者所属（会社・機関等） |  |
| 申込者氏名 |  |
| 申込者住所等（会社・機関等） | 〒　　　　-　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　TEL　　　　　　　　-　　　　　　-　　　　　　　　　　　　FAX　　　　　　　　-　　　　　　-　　　　　　　　　　　　E-mail　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 参加者 | 部署・職名 |  |
| 氏　　名 |  |
| 部署・職名 |  |
| 氏　　名 |  |
| 部署・職名 |  |
| 氏　　名 |  |

欄が足りない場合は適宜追加お願いします。